



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2013/5/20

報道関係者各位
プレスリリース
2013年5月20日

お世話になっております。
AQU 先端テクノロジー総研と申します。
ニュースリリースをお送りしますので、よろしくお願いいたします。

ウェアラブルディスプレイ、メガネ型、3人に1人が関心。
携帯電話の代替として、ユビキタス文化の創造を促進するツールとして期待
高まる。ウェアラブル需要調査報告書完成。先端テクノロジー総研

ウェアラブルディスプレイ、メガネ型、3人に1人が関心。
携帯電話の代替として、ユビキタス文化の創造を促進するツールとして期待
高まる。ウェアラブル需要調査報告書完成。先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/wd-emirai/>

<http://www.aqu.com/aqu-news/2013-5-20.pdf>

<http://www.aqu.com/wd-emirai/sample-1.pdf>

<http://www.aqu.com/>

ニュースリリース

内容サンプル

AQU メインページ

新世代ウェアラブル、WD に関する需要調査

— ユビキタス文化の創造促進、期待高まるウェアラブル機器、WD —

<調査報告書>

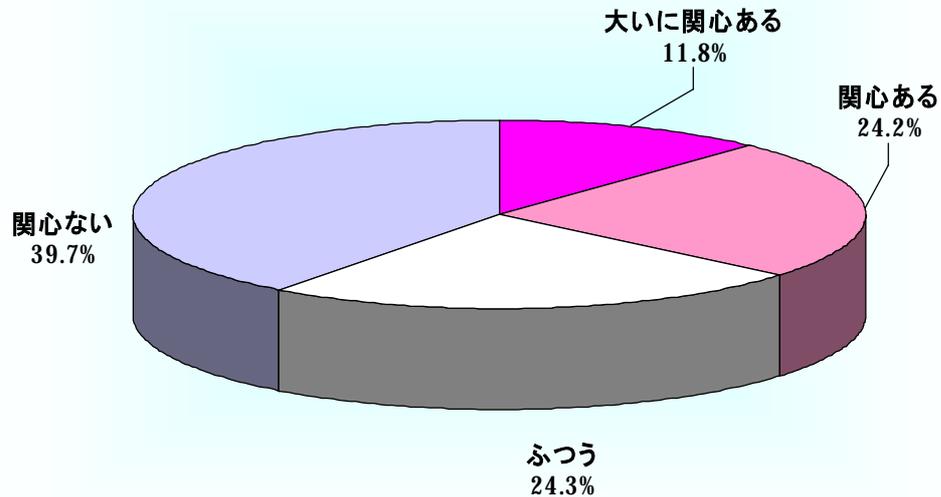
●ウェアラブルディスプレイ、メガネ型、3人に1人が関心。ウェアラブル需要調査報告書完成。

民間調査会社の AQU 先端テクノロジー総研(AQUARIUS 最先端研究所)(代表、子安克昌)は、このたび、ウェアラブルディスプレイに関するアンケート調査を実施しました。

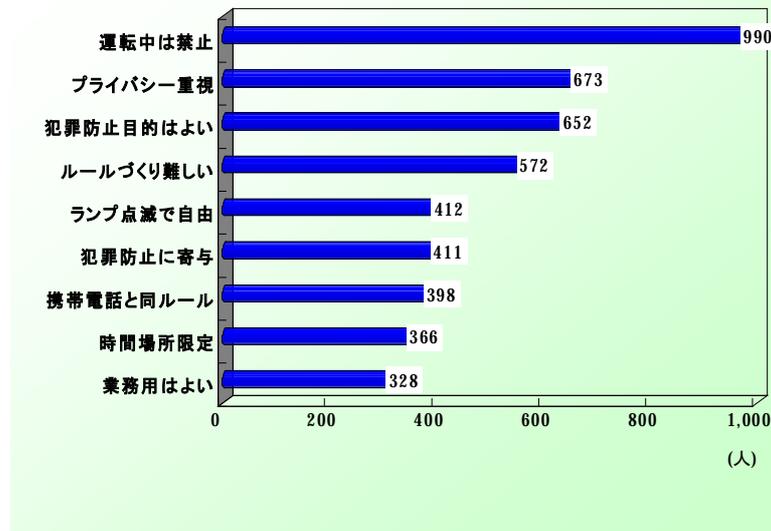
今回の調査では、インターネットを利用して、2, 200人の協力を得て、5月15～17日に行われました。

その結果、ウェアラブルディスプレイ(メガネ型)は3人に1人が関心。スマートフォン連携、音声認識アプリなどに期待が高まっています。また未来シーンを描いてもらったところ、メガネ型は一人一台の可能性、携帯電話の代替として、ユビキタス文化の創造を促進するツールとして期待が高まっていることが分かりました。

【ウェアラブル・ディスプレイ
(メガネ型)の関心度】



ウェアラブルディスプレイ 撮影時のマナー、ルールについて



いくつかの注目ポイントについて、お知らせいたします。

【ウェアラブル・ディスプレイ(メガネ型)の関心度】

「大いに関心ある」が11.8%、「関心ある」が24.2%で、両者合わせると、36.0%である。三人に一人が関心ある、ということがわかった。これは従来の調査において、一般的に新製品への関心が、四、五人に一人程度の割合であることを考えると、関心度の高さが注目できる。なお、男性の方が女性よりもやや関心度が高い。また年代別では、15～19歳が特に関心度が高い。

(※詳細、別途)

【マナー、ルールづくりについて】

ウェアラブル・ディスプレイ(メガネ型)のマナー、ルールについての質問は、将来の普及を想定してみたものである。

想定されるマナー、ルールについてはさまざまな考え方があがるが、とくに、「運転中は禁止」、が回答者に占める割合が45%ともっとも多く、交通事故を防ぐためにも、ルールづくりを進めた方がよいと感じさせる。つぎに「プライバシー重視」30.6%となっており、厳しいルールをつくった方がよいとする向きは多い。ただし、犯罪防止や犯人検挙が目的の「犯罪防止はよい」29.6%、「犯罪防止に役立つ」18.7%というように、社会的有用性に注目している人も少なくない。

いっぽう、さまざまな製品がでてくるため「ルールづくりは難しい」26.0%、撮影時の「ランプ点滅で自由」18.7%、「携帯電話と同ルール」18.1%といった項目も上位となった。

このほか、「時間場所を限定」(ライブ、イベント等)16.6%、「業務用はよい」(顧客のサービス向上のために活用)14.9%、「基本的に自由」12.9%、「利用規約守る人限定」12.7%、などが注目される。

米国ではグーグルの開発モデルのテスト利用にあたって、自動車での運転規制など一部ルールづくりがはじまっており、技術的完成度を高めながらも、いかに社会に受け入れられる環境づ

くり、ルールづくりをつくるか、についても大事なテーマになってくるとみられる。

(※詳細、別途)

このほか、拡張性、接続性について、質問している。ウェアラブル・ディスプレイ(メガネ型)において、拡張、または接続できたら便利と思うもの、関心があるものについては、パソコン(携帯型)、インターネット、スマートフォン、タブレット端末への関心度が高い。続いて、メガネ(使用中のものを使える)、位置情報(ナビゲーション)、携帯電話などが上位となった。これらを考えてみると、ウェアラブル・ディスプレイはスマートフォンなどのセカンドディスプレイとしての役割、可能性があるように見えてくる。

新しいウェアラブル機器(メガネ型)の操作法(入力等)に対する期待としては、まず音声認識(音声コマンド)、続いてメガネフレーム(タッチ)が挙げられている。続いて、タッチパッド、音声対話システム、スマートフォン(連携)、顔認識が続く。

なお、

新しいウェアラブル機器(メガネ型)が作り出す未来について、未来の利用シーンについて考えてもらったところ、このウェアラブル機器に期待する意見が多く聞かれた。とくに、ユビキタス文化の創造のための画期的ツールとなり、携帯電話の代替が進む、といった感想も多く見られた。以下はその一部である。

- ・ 高齢者などハンディがある方にも優しい社会になる。
- ・ 一人ひとつ持つことが当たり前になっている。学校の授業でも活用。
- ・ 皆が使っているので、抵抗なくどこでも使えるようになっている。
- ・ 盗撮などの反社会的な行為に使われた場合の罰則は定めていけばよく、規制や制限から始めることは良くないと思います。
- ・ SFの世界だったものが現実になると思うとワクワクする。
- ・ 携帯電話がなくなる。
- ・ 見えるままを他の者も同時体験できる。
- ・ 老若男女いたるところで自ら身につけて歩いている人が増えてきている。問題もなく、ますます個人個人でコミュニケーション、情報交換を楽しみ活用して、この高度技術を楽しんで過ごしている。ただ身体、特に視神経における疲れは増して来ているように思われる。
- ・ 携帯電話と同じように、初めはなかなか普及しないが、あることをきっかけに、一気に人々の必需品になると思う。
- ・
- ・ ハンズフリーの利点を活かして、サービス関連業務などに普通に利用されるようになっている。
- ・
- ・ これが、当たり前の世界になりそうな気がします。
- ・ マナー・ルールがしっかり管理され守れている社会が成立。求めやすい価格で多くの人との情報交換に役立っている。
- ・
- ・ パソコンやスマホの代わりになっている。
- ・ 本器だけで全て(現在 PC で行えること全て)でき、使う環境により使い分ける(ソフト)。仕事先では企業モード、仕事以外ではプライベートモード等自在に、使われる。
- ・
- ・ きちんとした一定の制限が設けられ、正しい使い方社会が豊かになっている。
- ・ 通話、位置情報アプリなど iPhone の拡張機器として使いたい。
- ・ 携帯に代わる機器としてウェアラブルが進化している。一人一個として鍵代わりにもなり、パソコンの代わりにもなる。
- ・
- ・ ハイテク化がさらに進んで、その波に乗れている人と乗れていない人の差が広がっていく。

- 会話の色々な場面でお互いのキャラクターを使って会話を彩る。
- 携帯電話やスマートフォンのように誰にでも手軽に使えるようになっている。
- 携帯端末との連動が強化されて、標準のデバイスとなっていく。
- 疑問に思ったことをすぐに解決できるようになる。プライバシーの保護などは今と変わらず、個人の生活を満たす一つのツールとして発展していくと思う。
- この製品があることによって、日常生活が便利になる。
- ハンズフリーなスマホみたいな感じで、スマホや携帯にとって代わったらおもしろい。
- まるで映画の中のスパイものの道具みたいでワクワクする。
- 手の不自由な方やお年寄りも気軽に使えて、世界のたくさんの事が共用できるようになっている。
- お互いの景色を見られて、体が悪い人でも、他人の目を通して外の景色が楽しめる。
- いつでもどこでも使える。パートナーのような存在。
- 障害のある方でも気軽にネットを楽しめる。ショールームやオリンピック招致の際などに、ビジュアル的に説明するのに役立つ。
- こんなメガネをかけて、読書を楽しんだり、PC 情報を供給したりと、多方面で活用していきたい。
- 学校ではウェアブルを利用して双方向の授業が行われている。
- 子供から大人まで誰もが使っていそう。
- 警察で役立てられ、犯人逮捕がより迅速に行えるようになる。プライバシーについては新しいルールが作られ、議論が行われている。ウェアラブル機器を利用したビジネスが生まれる。防災の連絡に役立っている。
- 特殊なデバイスとしてではなく、電話以上のコミュニケーションデバイスとして普及すれば、とても魅力的だと感じています。
- ユビキタス文化の創造。
- スーパーの商品情報などが見れ、買い物がより充実し、防犯にも役立つ。
- 病気で動けない人でも、遠くの人と話をしたりできる。
- いまの携帯電話がなくなり、身分証になったり支払いなどもこれ1つで済むような未来。
- ある程度普及が進み、街中で使用している風景が日常になる。メールチェックや、web ブラウズなどをどこでも気軽に行え、スマートフォンにかわるコミュニケーションツールとして使われている。
- **cafe** などでみんなつけてそう。
- スマホ同様、一人に一台所有し、デザインも多様化している。
- 離れていても、歩きながら会話をみんなしてる。仕事の起点になっている。
- 携帯が不必要になる。
- 顔認識などの技術が高度化して、見ただけで支払いが出来る。
- 現在のスマートフォンのような存在になり、更に防犯に役立っている。生活全般のキー的な役割りを果たして行く。
- 音声認識もしくは思考認識で必要な情報をナビゲーションキャラクターがすぐに出してくれる。

※ 調査結果詳細は、同社の調査報告書「新世代ウェアラブル、WDの市場展望に関する調査」(近日刊、予定)に反映される予定となっています。なお、アンケート調査レポートのみの販売も受け付けております。

<http://www.aqu.com/wd-emirai/>

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F FLPC

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

info@aqu.com
